

全産連

法律案大綱など成果を報告

都内で賀詞交歓会を開催

(公社)全国産業廃棄物連合会(石井邦夫会長)は1月12日、東京都内で賀詞交歓会を開催した。永井良一副会長は、廃棄物処理法見直し議論への参画や「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案(仮称)大綱」の

策定などの連合会の取り組み内容について石井会長に代わり報告した。

は、2020年の法制度化を目指して各方面に働きかける。連合会としては今年2月に産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)を初めて開催する。今後資格制度の制定に

「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案(仮称)大綱」の

廃棄物処理法については、今後も意見申の実行を求めていく。法律案大綱について

は、2020年の法制度化を目指して各方面に働きかける。連合会としては今年2月に産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)を初めて開催する。今後資格制度の制定に

向けての検討も進めていくという。

来賓として参加した中川雅治環境大臣は「環境省としては昨年に産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言を示した。また、政府としても中小企業における取引条件や最低賃金、人材不足に関する対策を検討している」とあいさつした。



永井良一副会長